

【米田主宰の俳句】

入道雲

米田規子

雨音のやさしき日なり茗荷の子
花柄の小さなカップ緑雨かな
むんむんとカンナの黄色重い空
青梅雨や猫のセブンと師の句集
ちかごろ男子会なるもの蓮の花
試されているとも思い入道雲
揚羽蝶詩の一片の横切って
考えて迷う稲妻の只中に
感染の第二波という茂りかな
ふわっと白いパンを割り夏休み